

写真で見る大久保病院の今昔（1）

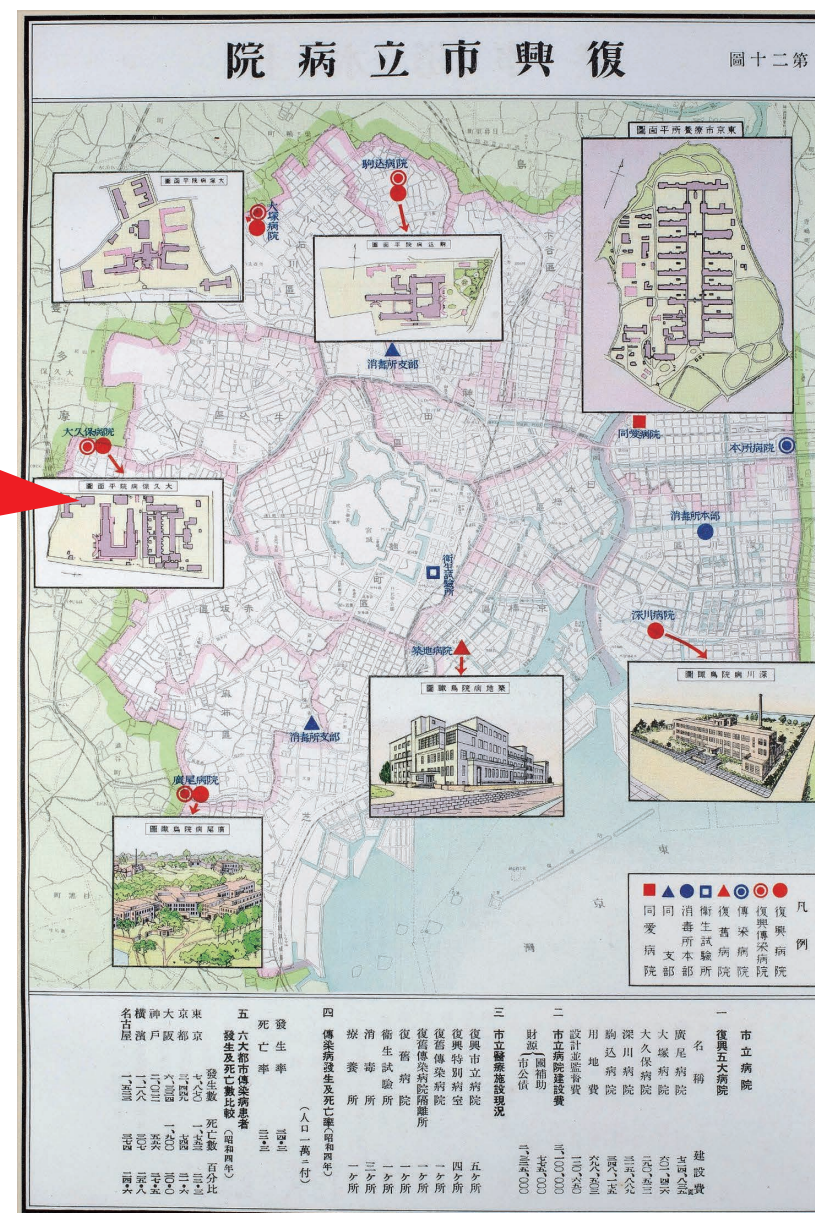
《戦前の大久保病院》

【昭和 12 年（1937 年）の病院の写真】

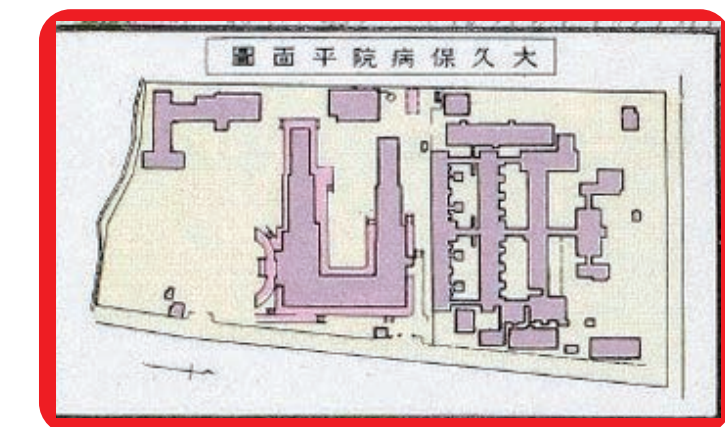


（出典）「TOKYO アーカイブ」（都立中央図書館）

復興市立病院の計画図



（出典）「TOKYO アーカイブ」（都立中央図書館）



【写真】

- 昭和 12 年 5 月の病院の正面写真（開業 58 年目）。戦前の病院の姿を記録する貴重な写真

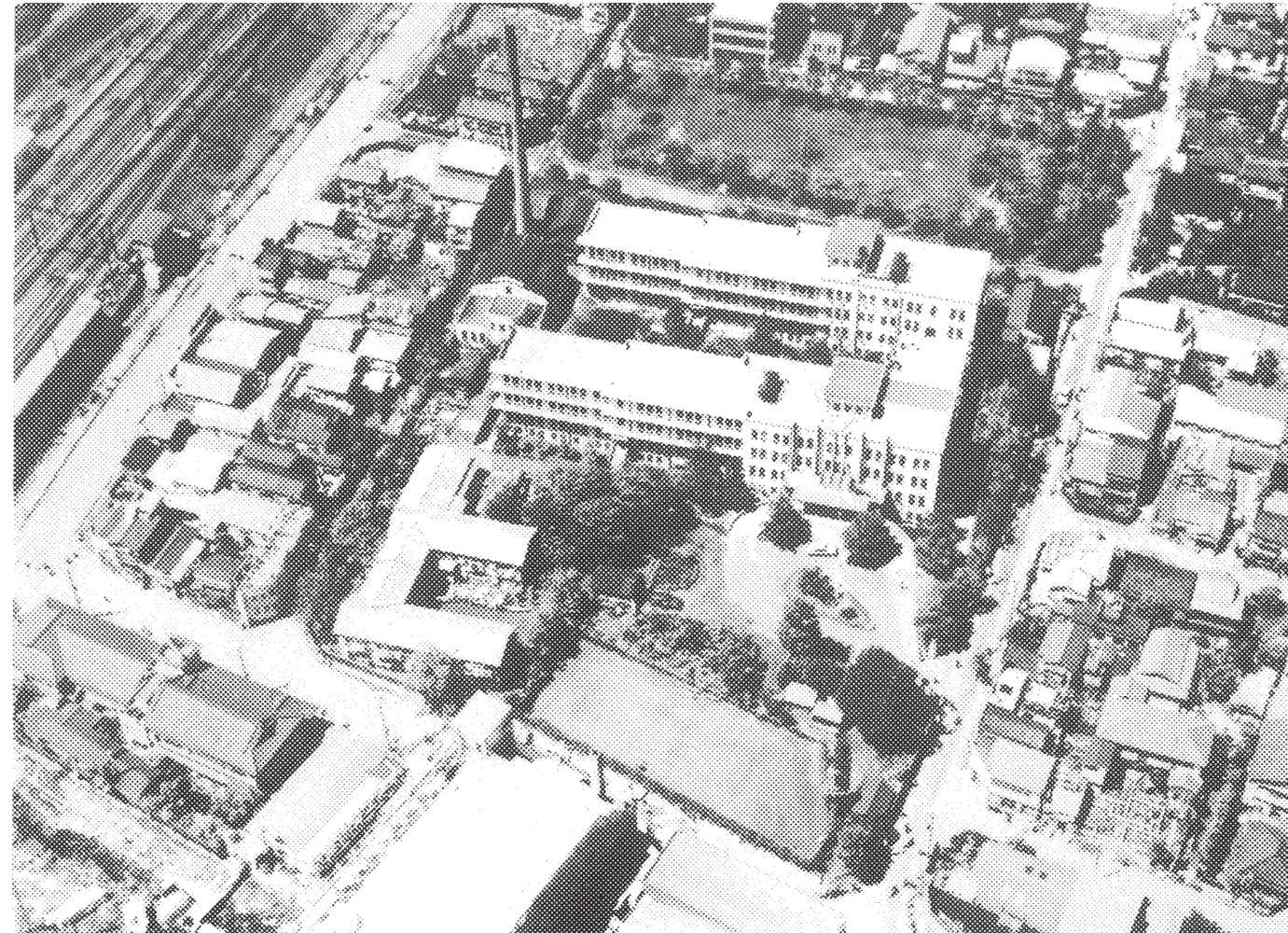
【説明】

- 本館は関東大震災後に「震災復興 5 大市立病院」の一つとして再建され、昭和 4 年 3 月に竣工しました（建設費 29.1 万円）。この建物は戦災も免れ、昭和 62 年に建替に伴い取壊されるまで、使用されてきました。
- 病院は、震災復興事業による「普通病棟」（軽費又は無料で診療を行う病棟）に、震災復旧事業による「特別病舎」（伝染病流行時に臨時に開設する病棟）を付設する形態がとられ、敷地の南側に普通病舎、北側に特別病舎、その中間に管理部門が置かれる配置でした。昭和 4 年 6 月から稼働しました。

《終戦直後の大久保病院》

【昭和 26 年（1951 年）及び昭和 30 年（1955 年）頃の病院の写真】

昭和 26 年（1951 年）の大久保病院



（出典）「病院半世紀のあゆみ」（大久保病院）

昭和 30 年頃（1955 年）の大久保病院



（提供）（株）東急レクリエーション

【写真】

- 昭和 26 年（開業 72 年目）及び 30 年頃（開業 76 年目）の病院の全景写真。戦争直後の病院の姿を記録する貴重な写真

【説明】

- 大戦で病院本館以外の関連施設は焼失してしまいましたが、それらが復旧されただけで、被災後 10 年たっても、まだ一部しか機能充実のための施設整備はなされていません。近隣は低層の建物ばかりです。
- ちなみに、昭和 26 年の写真の左下に 2 棟並んでいる建物は「芙蓉館」（進駐軍兵士の慰安施設）です。

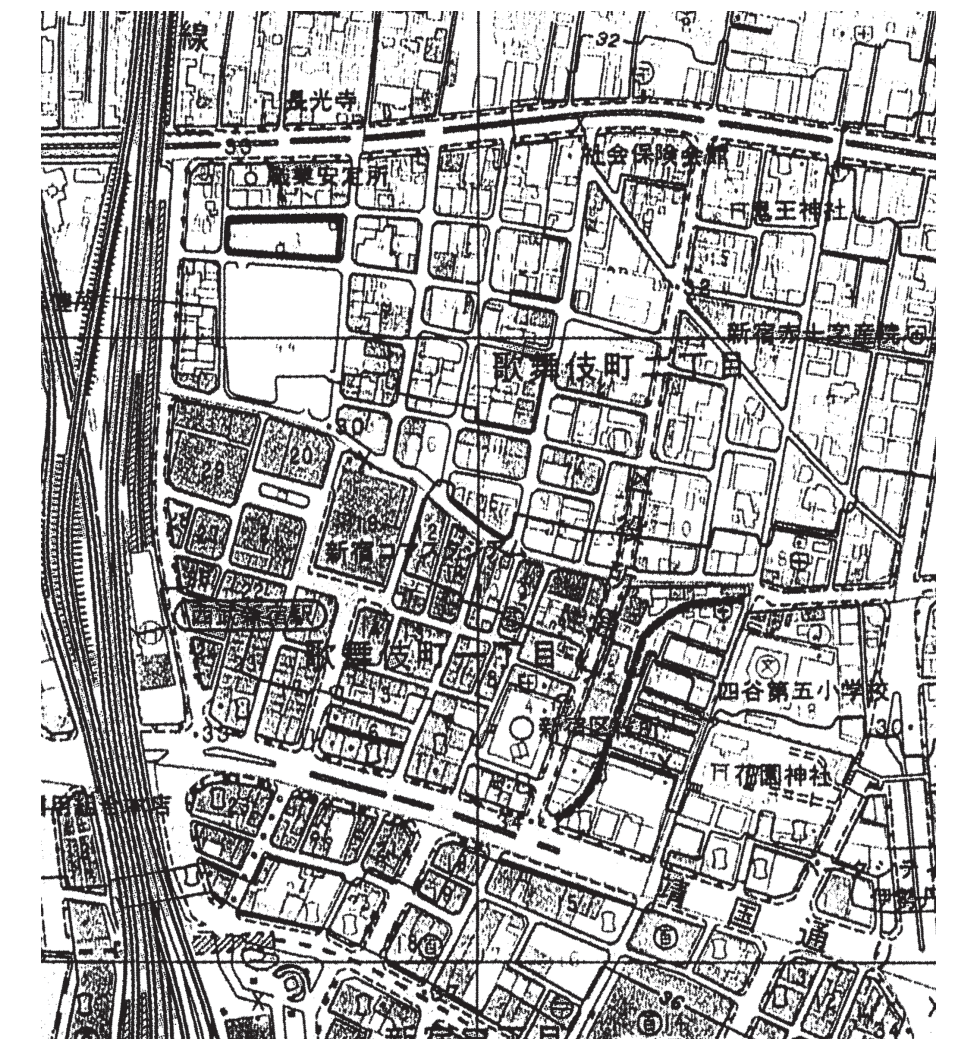
《取り壊し直前の大久保病院》

【昭和 62 年（1987 年）の病院の写真】



（出典）「昭和の東京 I 新宿区」（加藤嶺夫）

建替工事期間中の地図（昭和 63 年）



（出典）国土地理院データベース

【写真】

- 昭和 62 年 6 月 19 日撮影の病院の正面写真（開業 108 年目）。取壊し直前（1 か月前）の姿を記録した貴重な写真。

【説明】

- 本館建物は、一番左の昭和 12 年当時の写真と比較すると、樹木が成長した以外は、ほとんど変化がありません。ただ機能充実のための増築により、敷地一杯に建物が建て込みました。
- 昭和 4 年に竣工した本館が使用されていますが、翌年には建替のために病院休止となり、建物は解体されました。その後病院は、ハイジアに生まれ変わりました。なお、昭和 63 年の地図では、建物が解体されたため、敷地全体が白抜きになっています。